

7. ソノヴァ・ジャパン株式会社  
ロジャー タッチスクリーン マイク 3

---

<p>機器・サービスの概要</p>	<p>聴覚障害やLiD(聞き取り困難症)/APD(聴覚情報処理障害)の方など、きこえに課題のある方向けの補聴援助システムです。</p> <p>補聴器や人工内耳だけでは聞き取りが難しい騒音下や複数人での会話、教室や会議室といった話者と距離があるような日常のシーンできこえを大幅にサポートします。</p>
<p>機器・サービスの機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>高い互換性と操作性</b>でお子さまから高齢の方までどなたでも簡単にご使用いただけます →国内で販売されている多くの補聴器、人工内耳に対応。ボタンひとつで簡単接続。</li> <li>● <b>高い拡張性・接続性</b> →接続できる受信機の数は無制限で、既存の音響システムやヒアリンググループ、Web会議、音声認識アプリなど、さまざまな機器と組み合わせ利用できます。</li> <li>● <b>雑音下でもクリアな音声を実現</b> →指向性マイクロホンにより話者の声を的確にとらえ、使用状況に応じてマイクモードと音量を自動調整。さらにデジタル処理によって周囲の騒音を最大限抑制します。</li> </ul>
<p>情報アクセシビリティの配慮内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動文字起こしデバイスなどに本製品から明瞭な音声を届けることで、より精度の高い文字起こしが可能です。</li> <li>● 電源のオン/オフや本体ボタンは触覚で確認しながら操作可能です。</li> <li>● 液晶画面には大きくユニバーサルなアイコンを採用しており、直感的で簡単な操作ができます。</li> <li>● 本体のLEDが点灯することで、使用者以外にもミュートなどの機器の設定状況を一目で把握できます。</li> </ul>
<p>問合せ先</p>	<p>ソノヴァ・ジャパン株式会社 コマーシャル統括部 マーケティング          メール: <a href="mailto:lifeison.jp/atmark/phonak.com">lifeison.jp/atmark/phonak.com</a>          (注)スパムメール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。</p>



耳の聞こえに課題がある方は、補聴器や人工内耳で聞こえを補いますが、高性能な補聴器の場合であっても、集音できるのは1.5メートル程度のため、それより長い距離を集音することは難しくなります。

ロジャーは送信機で集音し、補聴器や人工内耳といった受信機に音声を届け、騒音下や離れた場所でのことばの聞き取りを改善します。



マイク(送信機)と受信機で構成される  
ワイヤレスシステム

## 当事者ニーズを 踏まえた開発

- 補聴器や人工内耳では、聞き手と話者が1.5m以内に1対1でいる場合で、かつ騒音がある一定レベル以下であれば有効に機能しますが、騒音が多い環境や話者と聞き手の距離が離れているとき、また複数の話者がいる場合などでは、会話が聞き取りづらいことがあるとの声を多く聞きます。フォナックでは、そのような補聴器等のデバイスにおける限界をサポートし、日常の会話はもとより、子どもたちの成長を支える教育現場や、聞き逃してはいけない成人の社会活動における重要なシーンでの聞き取りをサポートすることを目指し、「ロジャー」システムを開発いたしました。
- スイスでの創業から75年以上にわたりグローバルなネットワークで、日々難聴の方のきこえの課題と対峙する聴覚ケア専門家との強い協力関係の下、補聴器やワイヤレス通信機器の研究を重ねています。

## 企業としての 組織的な取組

- 合理的配慮の観点で、公的な施設(博物館、美術館など)の諸団体と連携し、機器の貸し出しを積極的に行うなどの活動に注力しています。
- 東京大学先端科学技術研究センター(先端研)が取り組むDO-IT Japan プログラム等への協力、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構への情報提供など、きこえに課題を持つより多くの方々への情報発信に取り組んでいます。
- 弊社が行うイベントや動画配信などにおいては、ロジャーを貸し出したり、字幕を徹底するなど、情報保障を整備しています。

## 審査結果の概要



### 騒音下や離れた距離でも明瞭な音声を提供

- 補聴器や人工内耳の限界となりがちな騒音下や離れた距離でも明瞭な音声を届けられる点が高く評価された。
- また、受信機接続の制限撤廃による利便性向上に加え、教育機関を中心に幅広い年齢層での長期的な導入実績があり、安定したワイヤレス補聴システムとして信頼を得ている点が評価された。



### 視覚に頼らない直感的な操作性とユニバーサルな設計

- 本体を傾げるだけのモード変更など、徹底してシンプルな操作性が実現されており、視覚障害や手の不自由な方を含む多様なユーザーが容易に使用できるよう配慮に取り組んでいる点が評価された。



### 当事者・外部機関との連携による開発と社会的な普及活動

- 開発段階から当事者や学生を巻き込み、現場での検証を重視している点に加え、大学や博物館などの外部機関と積極的に連携し、調査研究や普及に努めている点が評価された。